



2017年2月1日

第11回エコプロダクツ国際展をベトナムで開催



- 本年5月、ベトナム・ホーチミン市にて、環境に配慮した製品・技術・サービスを展示するエコプロダクツ国際展（EPIF）を開催
- ベトナム政府・企業関係者等に対し、ベトナム内外において環境に配慮した生産活動を行って行く上でのニーズ等を把握する機会を提供
- 「Green Technologies and Products : Action for the Future」（環境技術と製品：将来に向けたアクション）をテーマに、ベトナムにおける「緑の生産性（Green Productivity）」と環境に調和した成長を促進

アジア生産性機構（APO）とベトナム生産性本部（VNPI）は、ベトナム環境庁（VEA）とベトナム商工会議所（VCCI）の共催により、アジア最大の環境国際展である**第11回エコプロダクツ国際展（EPIF 2017）**を**2017年5月11日～13日、ホーチミン市のサイゴン エクシビション&コンベンションセンター**で開催することを発表しました。ベトナムでEPIFが開催されるのは、2008年のハノイでの開催以来、2度目となります。

また、ベトナム科学技術省、ベトナム天然資源環境省、ホーチミン市人民委員会、標準計量品質総局、緑の生産性諮問委員会の協力を得て、これに関連した国際会議を併催します。

EPIF 2017は、世界最先端の環境技術を紹介することにより、企業関係者に事業パートナー発掘の機会を提供すると同時に、市場に出回っている幅広い環境配慮型の製品・サービスに対する一般消費者の認知向上を図ることを目的としています。

主催者の一人であるグエン・アン・トゥアン（Nguyen Anh Tuan）VNPI 事務局長は、EPIF 2017のテーマは、「Green Technologies and Products: Action for the Future」であると述べました。また、堀口光 APO 工業部長は、「EPIF 2017は、公共と民間の両セクターによる環境調和型の成長に向けたイニシアティブの拡大を目指すとともに、政府、企業、民間団体、一般消費者が一堂に会し、低炭素社会の構築について話し合う機会を提供します。また、ベトナム関係者が国内外における環境に配慮した生産活動を推進する上でのニーズと、環境問題に対する世界の先進的な取組を把握する良い機会ともなります。」と付け加えました。

さらに堀口部長は、「EPIF 2017 は、企業と政府の間で環境関連事業の発展に向けた円滑な協働を促す一方、国際会議で第四次産業革命（Industry 4.0）の実現に向け APO 加盟国がどのように協力・連携して持続可能な社会を創造できるかを話し合い、様々なアイデアを引き出す機会も提供します」と述べ、「短期間で成果が得られる事業機会を創出・拡大するとともに、APO 加盟地域内に環境関連の知識を広く普及させ、環境配慮型の市場を拡大し、最終的には、持続可能なグローバル社会を築いていくことを目指します」と結びました。

（APO、GPAC、および EPIF については次ページのファクト・シートをご参照下さい。）

お問い合わせ先

APO 事務局 広報担当（パース / 藤本）

Tel: 03-3830-0411; Fax: 03-5840-5322

メール: sparth@apo-tokyo.org / yfujimoto@apo-tokyo.org

ウェブサイト: www.apo-tokyo.org

FACT SHEET (ファクト・シート)

APO

アジア生産性機構（APO）は生産性向上を目的としたアジア太平洋地域で唯一の国際機関です。1961年政府間協定の締結により設立されて以来、APOは生産性向上を通してアジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に重要な役割をはたしており、現在APOには20の国・地域が加盟しています。APOは研修、ワークショップ、セミナー、その他の能力開発の取り組みを通して加盟国の生産性向上を支援しています。

緑の生産性諮問委員会（GPAC）の設立

2003年、APOは、優れた環境対策実績を持つ日本企業から助言や協力を得るために、緑の生産性諮問委員会（GPAC：Green Productivity Advisory Committee）を設立しました。GPACは、環境や経済問題に携わる企業経営責任者で構成されており、2017年1月現在、GPACには57社が参加しています。

エコプロダクツ国際展（EPIF）

2004年、APOはGPACの全面的な協力を得てEPIFを開催しました。アジア太平洋地域におけるサプライチェーンのグリーン化に向け国際協力の強化を目指す展示会、そして同時開催される国際会議を通じ、各企業には自社の環境ビジネスを拡充する機会、政府関係者には政策のグリーン化の手法を探る機会が提供されています。その後、EPIFは毎年異なるAPO加盟国において開催され、回を重ねるごとに規模が大きくなり、国際的な注目度も高まってきました。EPIFは今やアジア最大の環境展示会の1つとして、その地位を確立しています。

（ウェブサイト：<http://epif2017.jp/>）

過去のエコプロダクツ国際展開催国

開催年	開催国
2004	マレーシア
2005	タイ
2006	シンガポール
2008	ベトナム
2009	フィリピン
2010	インドネシア
2011	インド
2013	シンガポール
2014	台湾
2016	タイ